

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2192100234		
法人名	株ユニマツ リタイアメント・コミュニティ		
事業所名	大垣ケアセンターそよ風		
所在地	岐阜県大垣市久瀬川町6-128		
自己評価作成日	2021年6月25日	評価結果市町村受理日	2021年9月3日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kai.gokensaku.mhl.w.go.jp/21/1/ndex.php?act=on_kouhyou_detai_022_kani=true&i_gvnsyoQi=2192100234-00&Servi.ceQi=320&Type=sear.ch
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会
所在地	岐阜県大垣市橋町1丁目3番地
訪問調査日	2021年7月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

そよ風での暮らしがお客様の日常の暮らしとなり、他の利用様と共に又、職員との関わりを通して楽しく過ごして頂ける環境作りを心がけております。利用者様ファーストを忘れず、毎日の業務にならないように気を付けております。現在、コロナ禍で外出もままならないですが、季節を忘れないよう毎月の行事で行ったり、足腰が弱らないように近所への散歩やセンター内の歩行訓練など取り組んでおります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

管理者、職員は、理念を具体化し「日々笑顔で接し、利用者が穏やかに笑顔が見られるように・・・」の思いを日常実践している。利用者のできる事、したい事の意向の把握に努め、役割と決めずその日の意向を大切に共に食事づくりなど支援している。家族の要望を聞きながら、コロナ禍で自粛生活でも健康維持、体力低下予防に、事業所のできる歩行訓練、リハビリ体操、習字、塗り絵、歌う等職員も楽しみながら支援している。管理者は利用者の状況を日々確認し利用者の状態の変化により介護計画を見直している。職員関係もよく、意見・要望を言いやすく働きやすい環境である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	グループ独自の理念(笑顔の為には感謝を)は勤務体制が変わり全体会議に確認しています	管理者は職員採用時に一人ひとりに丁寧に理念を伝えている。目配り、気配りしながら利用者の笑顔を引き出せるように会話を心がけ職員と共に実践している。管理者は、日常的に職員が理念の共有が出来ているかを確認している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	現在はコロナ禍で交流は中止しているが、近所の西小学校の生徒から手作りカレンダーをいただいた。また、保育園児との交流、小中学生の体験学習や職場体験を実施していきたいと思っています	コロナ禍でも小学生の手作りカレンダーや園児が作成した作品を先生から届けてもらっている。現在、夏祭りを計画中で利用者を楽しんでもらえるよう準備をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣への散歩のとき何気ない挨拶などによりその存在を知って頂くことにより認知症への理解を少しでもしていただける様努めています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在はセンターに来ていただくことはやっていないが、地域包括センターの職員、民生委員さん家族の方に隔月の開催月に利用者様の様子の新聞と共に行事等の内容をお送りさせていただいている	コロナ禍で開催出来ず事業報告や現状を書面で届けている。昨日、今年度2回目の会議を開催し、家族からコロナ禍で会えないなど話が聞かれた。民生委員から地域の情報を得ながらサービスに活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事故報告・変更届など速やかに提出しております。サービス運営の為の取り組みなど相談協力を築くよう努めております	運営推進会議が開催できず現状報告を届けに出掛けている。転倒や骨折の事故報告を提出し、積極的に現状を話し助言を受けながら協力関係に取り組んでいる。職員間でも防止にむけ話しあっている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会の設定、研修を行っております。玄関の施錠は利用者様の安全、外部からの不審者侵入回避の為もあり施錠させていただいております	毎月委員会で現状報告等を話し合っている。身体拘束だけでなく言葉の拘束も含め、対応や声をかけるトーンにも注意している。外出願望の利用者には付き添い、ゆっくり話を聞く対応を心がけている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内の虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修の開催と介護現場において困難事例があれば職員同士が協力し虐待防止に努めております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	マニュアルが作成されいつでも職員全員が閲覧出来るように整備されております		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分な説明と理解はいただいております		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営委員会、意見箱等において家族様からの要望意見は真摯に受け止め、できる範囲で反映させて頂いております	毎月「そよ風通信」を送付し、利用者の表情や父の日母の日等行事の様子、日々の暮らしを知らせている。利用者の薬の変更、職員の移動等を電話で連絡し、家族からの問い合わせに直ちに返答をし対応している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、全体会議を開催し意見や提案をして頂いております	管理者は、毎月の会議に職員が積極的に要望を発言、意見交換できるようにしている。特に新人職員には会議以外でも日常職員の行動や表情に注意し声をかけている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	やりがい、向上心については本社研修・事業本部内研修・外部研修参加の促進を行っております。公平に有給休暇など取れるよう考え休息できる様配慮を行っております		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修・実践者研修など各講習・研修に参加できる様促進を行っております		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業部内で3ヶ月に1回行われるGH協議会に参加することで意見交換など行っております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	実調査において本人様の不安や要望をお聞きし少しでも居心地の良い場所の提供ができるよう努めております		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設内での生活、家庭での生活への不安、利用者様を入居させるにあたっての家族様の想いなど傾聴し信頼関係に努めております		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他の介護サービス、医療サービスなど色々選択肢を提案することでその方に本当に必要としている物は何か対応に努めております		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常のできることは行っていただいております(洗濯干し・たたみ、食器洗い・食事の盛り付け)など		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居後初期段階では知りえなかったことなど家族様からお聞きすることでサービスなど支援に対して家族様とともに支えになれるようにしています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会制限が家族様より要望がない限り、馴染みの方との面会など関係が途切れないよう支援を行っております	以前、趣味仲間の訪問でフラダンスと一緒に楽しむこともあった。利用者からどうしてるかな・心配の声も聞かれる。自宅に一時泊り配偶者と過ごされる利用者を支援している。職員は携帯電話を使用し家族との交流を手助けしている。早期面会緩和に取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共にフロアでテレビを見たり、洗濯物を畳んでいただいたりと利用者様同士の関わりはできているように思います		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後の本人様・ご家族様との関係は切れています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中、ご本人との思いと共に性格も理解し本人様本位のサービス提供に努めています	職員は夜間、日常等1対1になれる時を捉え、誕生日のプレゼント、食べたい物、したいこと等意向の把握に努めている。うなぎが食べたいとの要望に献立を変更をした事(例)もある。意向は介護計画の見直しにも活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居相談～実態調査～サービス担当者会議～入居受付等によりサービスの経過等把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活、毎日の介護記録、申し送りノートなどで職員共有を行い、把握に努めております		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議の活用で意見交換し介護計画に反映させております	6カ月毎に、家族の意見を聞き見直している。毎月モニタリングをして状態の変化に合わせ家族と調整している。管理者は毎日介護記録で状態を確認、職員一人ひとりに意見を聞いている。利用者の状態に変化があれば随時計画を変更している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアカルテ・連絡ノート・朝礼などで活用し共有を行っております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	吸痰などの必要時や通常時は訪問看護に依頼しているが、急を要するときは資格者がいるときは対応をしております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在はコロナで保育園児、小学生の体験学習、中学生の職場体験は実施しておりません。しかし、西小学校の生徒が手作りしたカレンダーを頂いたり、保育園児から絵を描いた箱を頂いたりと交流は続けております		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅医療の導入により、より速い医療が受けられる体制作りを行いました	入居時に意向を聞いている。家族同伴受診時には状態を伝え結果を聞いている。毎日の血圧測定した記録を家族に渡すこともある。協力医・訪問看護とは24時間連携できている。専門医受診も家族受診としているが家族の都合に合わせて職員対応もしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護時、個々の状況を記載した連絡用紙を基に適切な受診看護が受けられる様支援しております		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	在宅医療と総合病院のドクター間の連絡情報の共有ができています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所できるところを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に看取りの理念の流れやご家族様のご意向などお聞きし、延命処置についてもお話しさせていただいております	契約時に事業所の指針を伝えている。利用者の状態の変化時、協力医より家族、訪問看護師、管理者同席で説明し、同意のもと介護計画を見直し支援をした事例がある。職員は訪問看護師の指導を受け支援をしている。家族の宿泊の希望も叶えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修などは行っていますが、実践が伴わない職員も少数いるのが現状です		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練は行っております。地域との協力体制については総会時に区長様にお願いし上がり、了承いただきました	夜間想定を含め年2回の訓練を行っている。ベランダから滑り台を使用する訓練も実施し職員で反省会をしている。備蓄もある。区長に災害時の協力を依頼し了承を得ているが、地域住民の避難訓練参加がない。社会状況にあわせ地域協力のあり方を検討されたい。	地域密着型事業所として、日頃から地域と事業所の交流を密にされたい。運営推進会議の議案も一考かと思われる。

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全員が心掛けて対応を行っております。今後も人格の尊重、誇りを損ねないように心掛けていきます	管理者は、日頃から慣れや言葉使いに注意し、落ち着いたある対応を取るよう伝えていく。入浴介助、排泄介助は羞恥心に配慮すること、また利用者に合わせ同性介助の支援をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いが表わせるようなお声掛けを心掛けております		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望に沿った支援を行っております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お聞きしながら洋服を選んで頂いたり、自分で選んで頂いたりしております。ご自分で選べない方は職員が選んでいる		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや洗い物など危険のないよう付き添いながら一緒に行っております	業者から食材を取り利用者好みの味付けに調理して提供している。行事食やおやつも手作りしている。職員は食は健康の基と考え、準備、盛り付け、食器洗い等利用者と一緒に楽しみながら支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の献立により職員が調理しその方に合わせた食事形態の提供を行うとともに食事・水分摂取量の記録は毎日行っております		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝夕の口腔ケアの施行、希望者の方には訪問歯科の利用も可能とさせていただいております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定時のお声掛け、誘導を行うことでトイレでの排泄を支援しております。夜間はポータブルトイレを使用している方もおります。オムツ使用の方は1名おります	利用者の排泄パターンを把握しオムツをはずし自立につなげている。夜間のみポータブル使用者も昼間はトイレの排泄をしている。リハビリの継続で立位保持が出来るようになった。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量の把握を行うと共に体を動かしていただける様声掛けを行っております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	無理強いすることなく清潔の保持を行いつつ入浴していただいております。入浴剤を使用することで楽しく入浴できる様心がけております	週2回入浴としているが、夏場や身体状態をみてシャワーで清潔にしている。順番を変え好みの湯温、入浴剤で楽しみを作っている。同性介助をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間はご本人様に合わせております。昼夜逆転にならないよう日中の活動状況に気を付けております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋は職員が誰もが確認できるようにしております。服薬の支援・症状の変化の確認に努めております		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で出来ることを行っていたくことで、役割・気分転換など行えていると思っております		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	近隣の神社への散歩、ベランダへ出て外気浴など心掛けております。ご家族様には外出・外泊は大丈夫とお伝えしご協力頂いております	自粛の中、身体機能の低下防止に2ユニット間の廊下を歩いたり、体操、習字、塗り絵、歌う等生活にメリハリをつける工夫をしている。家族と電話利用している。週2回30分程の面会開始を予定している。	

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金の所持はご本人様が安心できる程度に留めて頂くようお願いを行っております		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	制限は行っておりません。ご家族様のご意向はお伺いしております		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節がわかるような壁作りを行ったり、過ごし易い環境作りには心がけております	テレビが見やすい位置にソファを配置し、好みの椅子や場所で語らう環境を作っている。玄関、浴室、トイレ等清潔で臭気はない。適宜な空間が在り移動が安全である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにてそれぞれが過ごし易く、思い思いに過ごしていただける様心掛けております		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の使い慣れた寝具類など配置することで安心して過ごしていただける様、支援させて頂いております	見やすくまとめた思い出のアルバム、好みのノート、鏡、化粧品、ブラシなど家族の協力を得て、居心地よく過ごせる工夫をしている。家族と好みの食事をする事もある。本人の状態に合わせ穏やかに過ごせる環境を職員は考えている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険な物の持ち込み以外はご本人様の意向やご家族様の思いに配慮し、安全で自立して生活が過ごせるよう支援させて頂いております		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2192100234		
法人名	株ユニマツ リタイアメント・コミュニティ		
事業所名	大垣ケアセンターそよ風		
所在地	岐阜県大垣市久瀬川町6-128		
自己評価作成日	2021年6月25日	評価結果市町村受理日	2021年9月3日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/21/index.php?act=on_kouhyou_detail_022_kani=true&i_gyosvoOd=2192100234-00&SerVi.ceOd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市橋町1丁目3番地		
訪問調査日	2021年7月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	グループ独自の理念(笑顔の為には感謝を)毎日朝礼で唱和し供して実践に繋げています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	現在はコロナ禍で交流は中止しているが、近所の西小学校の生徒から手作りカレンダーをいただいた。また、保育園児との交流、小中学生の体験学習や職場体験を実施していきたいと思っています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣への散歩のとき何気ない挨拶などによりその存在を知って頂くことにより認知症への理解を少しでもしていただける様務めています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在はセンターに来ていただくことはやっていないが、地域包括センターの職員、民生委員さん家族の方に隔月の開催月に利用者様の様子の新聞と共に行事等の内容をお送りさせていただいている		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事故報告・変更届など速やかに提出しております。サービス運営の為の取り組みなど相談協力を築くよう努めております		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会の設定、研修を行っております。玄関の施錠は利用者様の安全、外部からの不審者侵入回避の為もあり施錠させていただいております		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修の開催と介護現場において困難事例があれば職員同士が協力し虐待防止に努めております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	マニュアルが作成されいつでも職員全員が閲覧出来るように整備されております		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分な説明と理解はいただいております		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営委員会、意見箱等において家族様からの要望意見は真摯に受け止め、できる範囲で反映させて頂いております		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、全体会議を開催し意見や提案をして頂いております		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	やりがい、向上心については本社研修・事業本部内研修・外部研修参加の促進を行っております。公平に有給休暇など取れるよう考え休息できる様配慮を行っております		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修・実践者研修など各講習・研修に参加できる様促進を行っております		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業部内で3ヶ月に1回行われるGH協議会に参加することで意見交換など行っております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	実調査において本人様の不安や要望をお聞きし少しでも居心地の良い場所の提供ができるよう努めております		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設内での生活、家庭での生活への不安、利用者様を入居させるにあたっての家族様の想いなど傾聴し信頼関係に努めております		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他の介護サービス、医療サービスなど色々選択肢を提案することでその方に本当に必要としている物は何か対応に努めております		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常のできることは行っていただいております(洗濯干し・たたみ、食器洗い・食事の盛り付け)など		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居後初期段階では知りえなかったことなど家族様からお聞きすることでサービスなど支援に対して家族様とともに支えになれるようにしています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会制限が家族様より要望がない限り、馴染みの方との面会など関係が途切れないよう支援を行っております		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共にフロアでテレビを見たり、洗濯物を畳んでいただいたりと利用者様同士の関わりはできているように思います		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後の本人様・ご家族様との関係は切れています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中、ご本人との思いと共に性格も理解し本人様本位のサービス提供に努めています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居相談～実態調査～サービス担当者会議～入居受付等によりサービスの経過等把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活、毎日の介護記録、申し送りノートなどで職員共有を行い、把握に努めております		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議の活用で意見交換し介護計画に反映させております		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアカルテ・連絡ノート・朝礼などで活用し共有を行っております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	吸痰などの必要時や通常時は訪問看護に依頼しているが、急を要するときは資格者がいるときは対応をしております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在はコロナで保育園児、小学生の体験学習、中学生の職場体験は実施しておりません。しかし、西小学校の生徒が手作りしたカレンダーを頂いたり、保育園児から絵を描いた箱を頂いたりと交流は続けております		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅医療の導入により、より速い医療が受けられる体制作りを行いました		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護時、個々の状況を記載した連絡用紙を基に適切な受診看護が受けられる様支援しております		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	在宅医療と総合病院のドクター間の連絡情報の共有ができています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に看取りの理念の流れやご家族様のご意向などお聞きし、延命処置についてもお話しさせていただいております		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修などは行っていますが、実践が伴わない職員も少数いるのが現状です		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練は行っております。地域との協力体制については総会時に区長様にお問い合わせいただき、了承いただきました		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全員が心掛けて対応を行っております。今後も人格の尊重、誇りを損ねないように心掛けていきます		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いが表わせるようなお声掛けを心掛けております		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望に沿った支援を行っております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お聞きしながら洋服を選んで頂いたり、自分で選んで頂いたりしております		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや洗い物など危険のないよう付き添いながら一緒に行っております		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の献立により職員が調理しその方に合わせた食事形態の提供を行うとともに食事・水分摂取量の記録は毎日行っております		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝夕の口腔ケアの施行、希望者の方には訪問歯科の利用も可能とさせていただいております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定時のお声掛け、誘導を行うことでトイレでの排泄を支援しております。夜間はポータブルトイレを使用している方もおります。オムツ使用の方は1名おります		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量の把握を行うと共に体を動かしていただける様声掛けを行っております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	無理強いすることなく清潔の保持をいっつ入浴していただいております。入浴剤を使用することで楽しく入浴できる様心がけております		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間はご本人様に合わせております。昼夜逆転にならないよう日中の活動状況に気を付けております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋は職員が誰もが確認できるようになっております。服薬の支援・症状の変化の確認に努めております		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で出来ることを行っていたくことで、役割・気分転換など行えていると思っております		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣の神社への散歩、ベランダへ出て外気浴など心掛けております。ご家族様には外出・外泊は大丈夫とお伝えしご協力頂いております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金の所持はご本人様が安心できる程度に留めて頂くようお願いを行っております		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	制限は行っておりません。ご家族様のご意向はお伺いしております		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節がわかるような壁作りを行ったり、過ごし易い環境作りには心がけております		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにてそれぞれが過ごし易く、思い思いに過ごしていただける様心掛けております		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の使い慣れた寝具類など配置することで安心して過ごしていただける様、支援させて頂いております		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険な物の持ち込み以外はご本人様の意向やご家族様の思いに配慮し、安全で自立して生活が過ごせるよう支援させて頂いております		